

HCC

Vol.2

Hiroshima Creative Cafe

THE BOOK



**TAKE
FREE**



HCC Vol.2
Hiroshima Creative Cafe
THE BOOK
From Governor

Hiroshima Creative Cafeは2年目を終え、多くの方々に新しいアイデアや活動内容を発表していただく中で、集まった人たちが刺激し合い、ますます盛り上がりを見せています。

Hiroshima Creative Cafeを通じて、世代や業種・業態を超えた繋がりが構築され、新たな取組が生まれつつあります。こうした繋がりが広がっていくことにより、広島で、楽しくてワクワクするアイデアがたくさん出てくることを期待しています。

多様な人材を惹きつける場になることを目指して、今後もHiroshima Creative Cafeの熱量を高めてまいります。

広島県知事 湯崎英彦



2年目にしてようやく固まった気がします。

クリエイティブとは何か？

このプロジェクトのおかげで、本当に沢山の方々とお会いし、意見を交わしました。

そこで気づいたんです、その皆さんの共通点は「誰かを笑顔にしたい」という

社会に貢献したいという想いでした。

そして、その想いから生まれるアイデア全てがクリエイティブなんだと。

だからクリエイティブな街とはこういった素晴らしい想いを持たれたみなさんのアイデアが

もっと飛び交い、肯定されていく中で実現に向かっていく、

そういった空気感ではないでしょうか？

そして忘れてはいけないのが結果です。

例えば野球でいうイチローやサッカーでいうキングカズのように海外でも活躍し、

沢山の方に感動を与え、お金を手にしている姿を子供たちが見たからこそ、

憧れや夢、それに伴う行動が生まれたんだと思います。

だから私たちは単なる空気感だけではなく、夢が実現していく広島をつくるために、

それぞれが持っている特性を生かし、尊重し合いながら結果を積み上げていく

その風土をこのプロジェクトを通してつくりたいと願っています。

そんな街では「君のアイデアは素晴らしいね」

「僕のこの能力で何か力になれないかい？」

「君の力をこっちで生かさないかい？」

こういった会話が飛び交ってそうですね。

そこを目指し、まず私たちが自分のベストを尽くし

尊重し助け合っていきたいと思っています。

Hiroshima Creative Cafe ディレクター

松川 友和

Contents

01 From Governor

02 Contents

03 From Director

04 Hiroshima Creative Cafe とは？

06 辻康広 《未来を創造するエンパワメントテクノロジー》
合同会社クロスロード

07 山崎勇三 《地域デビューで多世代交流を展開》
えんえん貯金／一般社団法人 孫育て検定協会

08 田室名保美 《木のおもちゃが「心のよりどころ」に》
たむろ木材カンパニー株式会社

09 柘本秀男 《将棋を教育コンテンツとして開発》
エデュ将棋教室

10 Code for Hiroshima 石崎浩太郎 《テクノロジーとまちづくり》
Code for Hiroshima

11 舛部紗千／山内結 《音楽とデザインの融合で人の心を動かす》
株式会社MIRAI

12 篠崎初光 《「田舎×IT」の新たな世界を開く》
坂井原元気プラン2グループ ギークハウスプロジェクト

13 永見保浩 《あたたかい「手」を通して元気を取り戻す》
整体＆健康塾らくしんかん

14 jack in the box 《広島の可能性を引き出し、学生の力で盛り上げる》
jack in the box

15 舟木花織 《「朝」を活かすことで新しい発見を》
朝活コミュニティ Am.ふくやま(アサふく)

16 清水義弘 《地域を見える化し、人をつなぐ》
ためま株式会社

17 守本怜矢 《DIYから広がる空き家の未来》
design & craft miluma

18 岡本友紀 《鉄の装飾美を広島から世界へ》
la forgerone

19 吉岡紘 《自らの成功事例で地元を活性化させたい》
吉岡香辛料研究所

20 リコーダーとピアノデュオ Teachers 《子どもたちに感動を、おとなに癒しを》
リコーダーとピアノデュオ Teachers

21 渡辺佳恵 《文字を通して「変わりたい!」を応援する》
一般社団法人 日本筆跡セラピスト協会

22 平成28年度 Hiroshima Creative Cafe 発表者のその後

Column：発表者交流会にて

25 Credit



Hiroshima Creative Cafe

HCC 開催概要（平成29年度開催実績：vol.8～vol.15）

開催日時 | 原則として、毎月第1金曜日 19:00～21:15

会場 | イノベーション・ハブ・ひろしま Camps

定員 | 約30名（発表者2組 ゲストパネリスト3名 参加者30名程度）

対象 | 発表者：主として広島で新たな取組を行っている方を公募により選定しています。
 ゲストパネリスト：広島を拠点に活躍されている多様な分野のスペシャリストをお迎えしています。
 参加者：どなたでも観覧いただけます。（随時募集しています。観覧は無料です。）

プログラム | 1. 発表者によるプレゼンテーション
 2. 発表者とゲストパネリストとのトークセッション
 3. 発表者、ゲストパネリスト、参加者による交流

ディレクター | 松川友和 (Cocoro-to production CEO)

HCC 随時、発表者を募集しています。

広島を拠点に新しいアイデアで創造的に活動されている方の発表者エントリーをお待ちしています。

- 新たに起業を予定している。または、起業して活動されている人
- まちの課題解決や魅力づくりに取り組んでいる人
- アート、デザイン、ITなどで制作活動を行いながら独自の取組を行っている人
- 自ら考えたアイデアの実現に向けて取組を行っている人 etc

HCC エントリーはこちらから

▼ホームページ



<http://hiroshimacreativecafe.jp>

▶トップページ→サイドメニュー「発表者エントリー」をご覧ください。

▼Facebook



「広島県～Hiroshima Creative Cafe～」で検索

《上記に関するご連絡先》 広島県地域政策局都市圏魅力づくり推進課 ☎082-513-2566

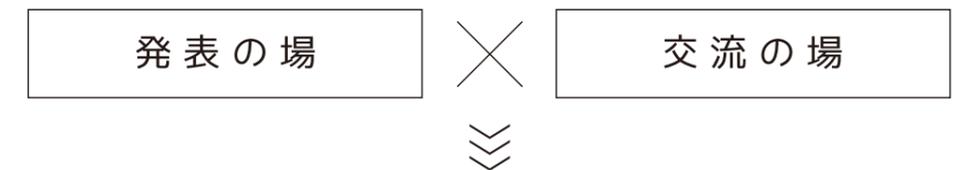
mail : chitoshiken@pref.hiroshima.lg.jp



HCC Hiroshima Creative Cafeとは？

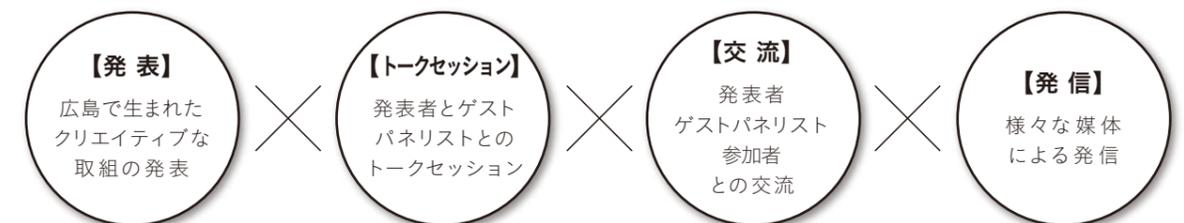
Hiroshima Creative Cafeは、県内で新しいアイデアを持ってクリエイティブな活動を行っている人たちが自らの取組を発信し、“Cafe”に集う多様な人たちが交流する場です。世代や業種業態を超えたネットワークの構築やコラボレーション等による新たな活動の創出に向けて、広島県が月1回定期的に開催しています。

広島県はこの取組により、チャレンジする人たちを後押しし、常に新しいプロジェクトやビジネスが生み出されるクリエイティブな街の創造をめざします。



広島県内でクリエイティブなアイデアを持って新しいことに
 チャレンジしている人たちを
 Cafeに集う人たちとの交流で後押しします!!

Hiroshima Creative Cafe の基本的な構成 >>>





辻 康広

つじやすひろ

合同会社クロスロード >>>

ナノバブルを作る技術を独自のノウハウで完成させ、2015年に独立。
代理店と連携し、独自開発のナノバブル発生装置の販路を開拓している。

未来を創造するエンパワメントテクノロジー

目で見ることのできない極めて微細化された気泡、ナノバブル。日本の革新的技術によるもので、その特性は様々な産業分野から期待されている。日本が生んだ微細気泡技術に対し、環境負荷低減 (Environmental loading reduction) という一つのテーマを掲げ、辻さんは「エンパワメントウォーター技術」を独自に開発。2016年には特許を取得した。水の中に生成した気泡をどこへでも持ち運ぶことができ、水耕栽培や魚介類の養殖、水質浄化、洗浄などの分野で効果を発揮する。「実用化の過程で発生するコスト、パフォーマンスや技術的な問題をクリアにし、物質が持つ性質を最大限に活用できま

す」と辻さんは話す。現在、技術の優位性を裏付ける根拠として、植物の成長促進効果について、そのデータ解析を広島県が進めている。

「多くの人と出会い、人脈を得たい」。Hiroshima Creative Cafeの壇上でエンパワメントウォーターの未来を語り、呼びかけた。今や販路開拓は広島だけでなく他府県へと向いている。いつか、辻さんの技術によって浄化された水槽で生き物が悠々と泳ぐ。水族館でそんな姿を見られるのも、遠い日ではないかもしれない。



Information

[TEL/FAX] 084-994-3337/084-955-6575
[Mail] cross.road.fukuyama@gmail.com



◀ Web



山崎 勇三

やまさき いさみ

えんえん貯金／一般社団法人 孫育て検定協会 >>>

シニア世代の社会参加のきっかけづくりと、地域ぐるみの子育て支援をめざし、全国で奮闘している「超」アクティブシニア。

地域デビューで多世代交流を展開

今、子育て環境が危ぶまれている。母子・父子家庭の増加、幼稚園や保育所不足、核家族化、地域社会の希薄化…。

これらをサポートするために必要なのは「子育て世代を地域で応援する仕組みづくり」だ。山崎さんが展開する「孫育て講座」「孫育て検定®」は、育児を通して多世代交流によって子どもたちが健やかに育つ社会をつくり、シニアがいまどきと地域で輝くためのプラン。

「時間に余裕のあるシニアは地域にたくさんいます。一方で子育て中のお母さんやお父さんは忙しい。そのギャップを埋めたいんです」。

現代子育ての基礎知識や保育知識、食育の知識などを学ぶことで世代間ギャップを埋

め、自信を持って孫育てデビューする。「孫育て検定®」は、事業として組織化された全国初の試みである。「子どもたちはニアから生活の知恵や生きる力を得ることができ、お母さんやお父さんは時間をうまく使うことができる。そして、シニアは子どもたちから元気と生きがいをもります」。そんな「三良し」がコンセプトだ。

Hiroshima Creative Cafeに登場し、参加者の方から「一緒にできることはないか」と依頼があり、つながりが生まれた。「孫育て講座・検定を自治体や子育て支援に関心の高い企業とのタイアップでもっと広げたい」。山崎さんの夢もどんどん広がっていく。



Information

[TEL] 090-8994-8074
[Mail] har88860@snow.odn.ne.jp



◀ Web



◀ Face book



田室 名保美

たむろ なほみ

たむろ木材カンパニー株式会社 >>>

木のおもちゃをこよなく愛し、「木のよさ」を伝え、「木のめぐる社会」をつくりたいと考える、おもちゃインストラクター。

木のおもちゃが「心のよりどころ」に

「木のおもちゃはやさしい気持ちになれます」。たむろ木材カンパニー株式会社に、今日もお客様からの声が届いた。人を安心させる力。「毎日遊んだり、使ったりする木のおもちゃには、そんな力があるんです」と田室さんは言う。伐採から木製品ができるまでの木の一生、そこに関わる人の人生。田室さんはそんな木材の背景を大切に、木材が使われる道筋を正しく伝えようとしている。

Hiroshima Creative Cafeに登場し、「これからの挑戦や展開に対する自信と情熱がさらに大きなものになりました」と田室さん。木製品の製造・販売だけでなく、森林の環境や林業に関する取組など、



写真：読売新聞社

「いい木の使い方」を考えることがとても楽しいと話す。木材のよさや、その利用方法を学ぶ「木育」は、知育・徳育・体育の面を効果的に育むことができることから、近年注目されている。田室さんもワークショップや親子で楽しめる工作教室を企画し、事業に「木育」を取り入れてきた。田室さんが注ぐ木への愛情はあつく、あたたかい。その愛情が木に伝わり、使い手に届く。毎日使い続けたその先に、木の香り、木の色、木と過ごした時間をなつかしく思う時がくる。それこそが、田室さんが木に願う「心のよりどころ」なのだ。

Information

[TEL] 082-263-6648
[Mail] info@tamuro-mokuzai.jp



◀ Web



枡本 秀男

ますもと ひでお

エデュ将棋教室 >>>

小学生の頃、将棋に出会う。その奥深さを知るうちに趣味から仕事へ。日本将棋連盟公認将棋普及指導員の資格を持つ。

将棋を教育コンテンツとして開発

史上最年少で「プロ入り」した、天才中学生棋士の活躍が話題となっている将棋。枡本さんは、将棋が持つ「礼儀作法」「脳の活性化作用」「大局観・先読み力を養う思考法」などの教育的要素に着目し、将棋式教育システム「エデュ将棋」を開発。エデュケーション（教育）と将棋を融合させた将棋教室を展開している。

「将棋の魅力は戦略性の高いゲームであることだけでなく、能力開発的な側面があること」と枡本さんは話す。この能力開発とは「非認知能力」のことをいい、自制心・忍耐力・創造性・レジリエンス（回復力・復元力）などがある。将棋は必ず交互に一手ずつ指さなければならぬ。自分が指したい

手を我慢することで自制心が養われ、局面が悪くなった時には耐え忍ぶ力がつき、それを打開する創造性などが自然と身についていく。将棋により備わるそれらの能力の中でも、エデュ将棋教室では特に決断力・集中力・忍耐力を高めるカリキュラムを組んでいる。Hiroshima Creative Cafeの壇上に立ったとき、未来の展望がより大きくなるのを感じた。大好きな将棋で、自分にかできない面白いことをやっていきたい。枡本さんは、将棋の世界に新しい一手を、未開の王手を指そうとしている。



Information

[TEL] 090-6410-0052
[Mail] edushogi@gmail.com



◀ Web



写真手前が山内さん、奥が舛部さん

舛部 紗千 / 山内 結

ますべ さち / やまうち ゆい

株式会社 MIRAI >>>

「広島から全国、そして世界へ」というビジョンを掲げ、Webをはじめとする様々な分野で「サービスデザイン」を手掛けている。



写真左から2番目が石崎さん

Code for Hiroshima 石崎 浩太郎

コード フォー ヒロシマ / いしざき こうたろう

Code for Hiroshima >>>

市民(Civic)が主体となり、テクノロジー(Tech)を活用しながら地域課題を解決する非営利団体。



閲覧型から体験型へ——。今、Webサイトの世界に新たな価値が生まれようとしている。文章や画像だけの従来のホームページでは伝えきれないような企業のコンセプト、雰囲気、人間味などを同時に伝えることができた。一方通行型の閲覧型Webサイトの限界を超え、音楽とデザインを融合させた体験型Webサイトを作り出しているのが株式会社MIRAIだ。その一線に立つクリエイティブチームの舛部さんと山内さんは、企業のリクルートサイトやコーポレートサイト、コーポレートムービーなどを制作している。「デジタルネイティブの若者が多い今、音楽を取り入れられたWebサイトは、まるで動画

音楽とデザインの融合で人の心を動かす

を見るかのようにわかりやすく、伝わりやすいのが特徴です」と舛部さんは言う。サウンドクリエイターの山内さんは、経営者のヒアリングに同席し、サイト構築のねらい、コンセプト、ユーザーへの思いなどをヒアリング。キーワードをピックアップしながら、作曲していくのが他では真似できない株式会社MIRAIの音づくりだと語る。

Hiroshima Creative Cafeでの登壇後、一人の女子大学生が会社を訪ねてくれた。「広島にこんなにも素晴らしい会社があったんですね」その一言から得た喜びは、新しいWebの世界をリードする誇りへとつながっていくのだろう。

Information

[ADDRESS] 〒730-0013
広島県広島市中区八丁堀 4-15-5F
[TEL/FAX] 082-225-6281 / 082-225-6282



◀ Web



Information

[TEL] 082-576-4368



◀ Web



◀ Face book

テクノロジーとまちづくり

2015年、広島の地にCode for Japan BrigadeであらゆるCode for Hiroshimaが立ち上がった。Code for Japanとは、自分たちの街の課題を市民主体で解決するコミュニティづくりの支援や、自治体への民間人材派遣などの事業に取り組む非営利団体。Brigadeとは、Code for Japanのプログラムに参加し、地域課題の解決に向けて取り組むコミュニティ(拠点)のことをいう。

「エンジニアやデザイナーに限らず、個人が持つ能力や思いを発揮し、地域に活かせるフィールドがCode for Hiroshimaにあります」。例えば、社会福祉活動のフードバンク。Code for Hiroshimaが月に一度開催している「井戸端

会議」の中で、参加者からフードバンクについての課題が挙がった。フードバンクの食材が、NPO法人などが実施している「こども食堂」のメニューにならざる方法はないか。流通経路など、食材を求めている者のニーズに応えられるシステムを作れないかなど、日々熱い議論が交わされている。こうした「地域の困りごとを市民(Civic)のテクノロジー(Tech)で解決する」のがCode for Hiroshimaです。「シビックテック」という新しいまちづくりのムーブメントを自分たちが生活する街へ広げていく。



篠崎 初光

しのざきもとひこ

坂井原元気プラン2グループ ギークハウスプロジェクト >>>
2016年9月、三原市の空き家の調査などを経て、ギークハウスの運営を開始。ITコミュニティの拠点づくりに取り組む。



永見 保浩

ながみ やすひろ

整体&健康塾らくしんかん >>>
1997年から「野口整体」を基本とした身体操作法を学ぶ。約20年間研鑽を続け、2016年に郷里の広島で独立した。

「田舎×IT」の新たな世界を開く

「ギークハウス」とは、パソコンやITの分野で卓越した知識のある人が集まるシェアハウスのことをいう。ギークハウス広島は、広島県三原市の北部、高原のまちとして知られ、宇根山天文台や国の天然記念物「久井の岩海」が有名な久井町にある。一面に田んぼが広がる、「ゆったり、のんびり」した場所だ。そんなスローライフを満喫できそうな場所に、「田舎×IT」という新しい息吹をギークハウス広島代表の篠崎さんは吹き込もうとしている。

Hiroshima Creative Cafe
に登壇後、「ドローンを使った活動「ぎーひろドローン部」が本格的に動き出した。Hiroshima Creative Cafeの登壇後、イベ



Information

[ADDRESS] 〒722-1414
広島県三原市久井町坂井原 483
[TEL] 070-6509-3763



◀ Web



◀ Face book

そんな近未来が楽しみだ。

あたたかい「手」を通して元気を取り戻す

幼い頃、痛いところを母親が触ってくれた。すると何となく、そっと触れられているだけで痛みが和らいでいくような気がした。永見さんがめざす整体は、この感覚と似ている。「施術」という言葉をあえて使わず「手あて」を大切に、無理なく自然に心身を整え、自ら治っていくとする自己治癒力を高める。自分と向き合い、元気になろうとする力を導き、愉しく、気持ちよく「からだ」を育んでいくのが永見さんがめざす整体だ。「人を元気にし、ひいては社会を元気にしたいんです」と永見さんは話す。2013年春、東日本大震災の被災地でボランティアとして整体個人指導を行った。永見さんの手あてを

受けたのは延べ1,000人以上にもなった。「もっと多くの人に知ってもらい、地域にも広げたい」と永見さんは願う。自分が取り組んでいることへの大きな自信と誇り、今後の方向性がHiroshima Creative Cafeで明確になった。登壇で得たのはそれだけではない。企業との交流も実現したと同時に、人に伝えること、共感を得ることの難しさを知った。永見さんの事業は整体の個人指導だけでなく、相談会や体操教室も展開している。心身のことについて学び、整え、健康を体感していく。「一人ひとりの健康から未来の幸せを導きたい」その想いを強くした。



Information

[ADDRESS] 〒733-0822
広島市西区康午中 2-6-8 ソフィアコート康午中102号
[TEL] 090-2002-9802
[Mai] rakushinkan@hi3.enjoy.ne.jp



◀ Web



舟木 花織

ふなき かおり

朝活コミュニティ Am ふくやま (アサふく) >>>

2017年に朝活コミュニティ「Amふくやま(アサふく)」を立ち上げ、学生や社会人など立場を越えた交流を福山市で行う。



「朝」を活かすことで新しい発見を
舟木さん自身、朝が苦手だった。勉強も仕事も朝の早起きが大事だということを知っていた。「自分一人だけでは、早起きがなかなかできなくて、でも仲間同士で、みんなでやればできるんじゃないかと思っただけです」。そんな当初の想いは、やがてコミュニティづくりへとつながっていく。大学で「まちづくり」を学んでいたことから、身近なところから取り組むことができるまちづくりは何かを考えていた。福山というまちで、朝早くから活動する。その活動が定例化し、仲間が広がり、「コミュニティ」となり、「朝活」そのものが福山の文化の一つになる。「アサふく」を立ち上げた理由だ。モットーは好きなこと、楽しい

Information

[Mail]
asakatsu.fukuyama@gmail.com

← Face book



jack in the box

ジャックインザボックス

jack in the box >>>

「学生の力で広島を盛り上げる」「学生の可能性を広げる」というコンセプトのもと活動。活動を広島の文化にすべく、奮闘している。



広島の可能性を引き出し、学生の力で盛り上げる
学生の力で広島を盛り上げる「学生の可能性を広げる」というコンセプトのもと活動しているのがjack in the boxだ。学生のミス・ミンスター・コンテスT「Hiroshima Campus Collection」をメインとし、県内に数多くある大学や専修学校と協力し合って開催。「jack in the box」として団体とイベントを広島の文化として根付かせたいんです。それには多くのエネルギーや勇気が必要になってくる。「そこに挑戦する若い世代の可能性は、自分たち学生が思っているより、もっとある」ということを学生同士で伝えたい」と考えている。

Information

[Mail]
hiroshima.jack.in.the.box@gmail.com

← Web

← Face book

「おとな」たちも多いはずだ。
しかし「Hiroshima Creative Cafe」に登壇し、改めて気付かされたことがあった。イベントを学生の間だけで広めていたこと。広島を中心部だけで盛り上がるのではなく、郊外や広島市外にも視野を広げ、「おとな」も含めて地域との交流を深めること。それが成功して初めて「広島伝統」に近づけるのではないかと。ただ、jack in the boxの彼らが持つ「広島を変えよう、盛り上げよう」というエネルギーはとてつもなく大きい。「学生なのにこんなことまでできるのか」。そう気付かされ、心を揺り動かされる。

「朝」を活かすことで新しい発見を

こと、できることをする。「でも、そこに発見があることが大切です」と舟木さん。「発見は日常に変化をもたらし、人をいきいきとさせてくれます」。アサふくでの発見が毎日をサポートし、地域に広がり、まち全体が活発化していくことをめざしている。

これからの活動にアサふくのオリジナリティが必要だということ。Hiroshima Creative Cafeで学び、他の発表者とのつながりも生まれた。朝ごはんを食べるオリジナルの米栽培、3D食器作り、ゲストを招待したイベント開催など、福山のひととまちを元気にする企画案は、尽きることがない。



写真(右)が清水さん

清水 義弘

しみず よしひろ

ためま株式会社 >>>

2014年に「ためまっぷプロジェクト」を設立。多くの受賞を経ながら、大手企業と連携しつつ全国展開を進めている。

地域を見える化し、人をつなぐ

「ためまっぷ」をひとりで表すと「みんなのまちの掲示板」。スマートフォンのGPS機能を使い、「今日、今からでも参加できる地域活動を5秒で検索できる」アプリサービスだ。公民館や町内会などのイベントのチラシをスマートフォンで撮影して簡単に投稿。イベントを探す人はアプリを開くだけで、今いる場所から近くの、今日以降の地域活動のチラシを見つけれられる。「育児、介護、転勤族...」地域で孤立している人たちの現状を何とかしたかったんです」と、代表の清水さんは話す。自身も経験した育児の際の孤立がプロジェクトを立ち上げるきっかけになった。「地域の活動を見える化して、情報を受けたい

人と届けたい人をスムーズにつなげることができれば」。清水さんはさらに「スマートフォンが普及した現代だからこそ必要だと考えられるアプリサービスです」と付け加える。

「Hiroshima Creative Cafe」では、すぐにも取り組みたいアイデアをもらえました。より専門的で、的確なメソッドが登壇の際に飛び交った。今、九州や兵庫、東京で大手企業との事業連携が動き出している。

孤立を防ぎ、地域活動が発見になれば、その結果として安心・安全で暮らしやすい社会になる——。偶然を必然に変える「ため」の「まっぷ」は、日常を元気に過ごすための情報の宝庫になるだろう。



Information

[TEL/FAX]
080-7019-9688/050-3737-0831
[Mail] tamemap@googlegroups.com



◀ Web



守本 怜矢

もりもと れいや

design & craft miluma >>>

建築学科在学中より、実施設計をはじめプロダクトやデザインなどを学び、現在は空き家を中心に中山間地域の課題解決に取り組む。

DIYから広がる空き家の未来

夢物語か、ビジネスか。Hiroshima Creative Cafeの壇上で問われた。「夢物語です」と、はつきり答える守本さんには、夢に向かって動き出すことへの挑戦と情熱がみなぎっていた。夢だからこそ、将来の可能性をもっと大きくふくらますことができる。熱意を注ぎ込むことができる。その熱意に魅せられた人から不動産業界の人の紹介を受け、Hiroshima Creative Cafeでの登壇が新たな出会いに結び付いた。

守本さんは、人口減少と空き家問題の解決にもつながる新しい不動産モデル「未来不動産」を提案。DIYのアイデアを空き家のリノベーションに活用するもので、Webサイト「未来不動産」に様々なリノ

ページのアイデアを投稿することができ、利用者はそのアイデアを元に改修方法やコストを学ぶことができる。また、サイト上でDIYの希望者を募ることで、一つの物件に対して関わる人を増やし、空き家を介したコミュニティをつくるというねらいもある。「空き家の市場性を高めることで、地方の人口減少の課題解決に貢献したい」と、守本さんは願う。「空き家というハードにどんな人が住み、どんなストーリーを経てきたのか。そんなソフットの面も大事にしたいんです」。物件の図面を見て、そこに住む家族の物語を連想するのが好き。人との「縁」を大切に守本さんならではの信念だ。



Information

[Mail] mrmtriy0502@gmail.com



岡本 友紀

おかもと ゆき

la forgerone >>>

1995年、証券会社の営業から一転、鍛冶職人の世界へ。10年間の修行後、独立。アトリエ「la forgerone (ラ・フォルジュロン)」を持つ。

鉄の装飾美を広島から世界へ

鉄が宙を舞う——。岡本さんの作品だ。そこに金属本来の重厚感はなく、羽のような軽さと植物のようなしなやかさがある。「影の美しさにもこだわっています」と岡本さんは言う。鉄の造形に光が差すことにより、幻想的な影が映し出される。やわらかな影を生むシャドウリアなどの照明は、男女問わず人気がある。だが一方で、鉄製品の存在を知らない人が多い。「ほとんどの人が知らない」という現実を知っておくべきだと思っただけです。

作品のこと、自分自身のことを知ってもらいたい。そう思い、Hiroshima Creative Cafeに登壇。登壇を通じて、迷っていたこと、悩んでいたことから解放されたような気がした。

た。自分にしかできないものを作っていた。その確信がここからの自分の道を照らす。広島で作り、東京で展示し、世界へ。新たな企業がスポンサーに付いたことにより、海外への流通経路の可能性が開けた。

岡本さんの作品を持つ曲線のやわらかさから、その作品のそばに立つだけで癒やしを受ける。リビングにあれば団らんの時を演出してくれる。穏やかで平和なひとときを広島から世界へ。羽を付けた鉄のアートが強く美しく、飛び立つようになっている。



Information

[TEL] 090-5697-1117
[mail] la_forgerone@forgerone.com



◀ Web



◀ Face book



吉岡 紘

よしおか ひろし

吉岡香辛料研究所 >>>

「栽培士」として本業から転職。「過疎地で農業」をしながら楽しく人生を送る。そんなモデルケースになることをめざしている。

自らの成功事例で地元を活性化させたい

過疎化が進む現在の地で、農業を生業として始めた。激辛の唐辛子栽培だ。廿日市市からUターンで庄原市に帰ってきた時に見た、亡くなった祖母の畑。「何か植えよう」とそう思ってホームセンターでたまたま購入したのがハバネロの種だった。元はといえば、辛い物が好きだった訳ではない。ある食事をきっかけに、香辛料に興味を持った。それらの出来事が、今ある吉岡さんの原点だ。「自分の好きなことをして、好きな人生を全うする。そんな僕を見て超えてやろうとする人がいる。誰かの希望になるような存在でありたいんです」と吉岡さん。目標は「過疎地でも成功すること。知名度を上げて特産品

この先の自分がどうありたいのか、その道筋がHiroshima Creative Cafeで見えた。登壇を機に企業とのつながりも生まれ、様々なアイデアを交換できた。キャラクターなどシンボルの考案、商品の開発、販路の開拓……。これから育んでいくことは多い。でもその分楽しい。「なんかヤバイ唐辛子があるらしい」とそう思わせたい。「好きなことを仕事にし、本気で生み出したモノこそが本物ではないでしょうか」と語る吉岡さんの瞳には、よりホットな人生が映っているようだ。



Information

[ADDRESS] 〒729-5125
広島県庄原市東城町川西 452-1
[TEL] 090-1186-3516



◀ Web



◀ Face book



リコーダーとピアノデュオ Teachers

リコーダーとピアノデュオ/ティーチャーズ

リコーダーとピアノデュオ Teachers >>>

リコーダーのゆうこ先生、キーボードのなっち先生のデュオ。地域のイベント出演をきっかけに「Teachers」を結成。

子どもたちに感動を、おとなに癒やしを

金曜日の夜、Hiroshima Creative Cafeの会場にリコーダーとピアノの音色が響いた。耳に馴染みのあるポピュラーな音楽をリコーダーの音で聴く。その新鮮さと心地よさに参加者からの拍手が止まらなかった。Teachersは、地域のイベントや児童館などを舞台にリコーダーとピアノで演奏活動をしている。特徴的なのはその楽曲で、流行しているアニメや映画の音楽、ドラマの主題歌などを奏でる。「こんな曲もリコーダーで吹けるんだ。子どもたちは学校の授業だけで習うことのできないリコーダーの楽しさに気付く。「自分の好きな歌手の曲なら、練習にやる気が出てくるはず」と、ゆうこ先生。子どもたちに学ぶ楽

しさを伝えたい。その一心で活動を続けてきた。「強制的な練習ではなく、自発的な練習を通して、努力する楽しさを覚えてもらいたいです」なっち先生が付け加える。
今後の活動を広げていく上で、演奏する場所、発信や広告、選曲の方法など、多くの意見やノウハウを得たいという気持ちから、Hiroshima Creative Cafeへの登壇を決めた。リコーダーとピアノという珍しい組み合わせである分、もっと可能性があり、手段や方法があることに気が付いた。いつか、シニアの方がリコーダーの先生になり、地域に広がっていく。そんな夢も大きく広がる夜だった。



Information

[TEL] 090-1017-3611
[Mail] yukochangumu@yahoo.co.jp



Face book



渡辺 佳恵

わたなべ かえ

一般社団法人 日本筆跡セラピスト協会 >>>

筆跡認定講師。協会代表との出会いから筆跡心理学を学ぶ。自分自身の心を豊かに、一人でも多くの笑顔を増やしたいと願う。

文字を通して「変わりたい！」を応援する

筆跡心理学とは、書かれた文字を見て書き手の性格や行動傾向を分析し、診断する学問のこと。欧米では、医師や弁護士などと並ぶ国家資格の職業になっている。書かれた文字から書き手の性格を診断する「筆跡診断」と、文字の書き方を変えて、書き手の置かれている状況を変えていく「筆跡改善」の二つがある。例えば数字からは健康状態がわかる。病気を治すことはできないが、生活習慣を変えるための提案はできる。また文字を見ることで、なかなか言葉に表せない子どものSOSに気付くこともできるのだ。「筆跡心理学は書き手の文字から性格、行動傾向がわかります。そこから自分がどんな性

格かを知り、「なりたい自分」になるための筆跡をお伝えできます」。渡辺さんは筆跡認定講師として、個別セッションをはじめ、企業からの依頼による筆跡診断や講演を行っている。
Hiroshima Creative Cafeでの発表の時、渡辺さんの筆跡診断に会場がどよめいた。一瞬で書かれた文字や数字から心や体の状況、状態を読み解き、筆跡から自分自身を変えていけること、元気になることを参加者に伝えた。自分も心豊かになることをめざしてきた渡辺さん。「「なりたい自分」になる人を応援します」。その言葉の強さに、参加者の笑顔が輝いた。



Information

[TEL] 090-9411-7385
[Mail] kae.watanabe1213@gmail.com



Face book

interview >>> 04 PocketPlan



PocketPlan

広島の人々をWebやフリーペーパー、イベントで紹介する活動を行う。

**広島に住んでいる若い人に
広島で活動している
社会人サークルを知ってもらう**

発表後、ゲストパネリストの方からお話をいただいたアルパークでのイベントで、サークル数は39件から43件に増えました。運営メンバーも4人加わり、活動範囲をさらに広げています。その他には、「働き方改革」をテーマに中国新聞の取材があり、「PocketPlan」の活動を発信できました。

サークルを増やすことで、広島の社会人サークルに興味を持つ若者を増やしていきたいです。また、イベントやメディアに出る機会を増やし、継続的に活動できるサークルを増やしていきたいです。PocketPlan自身も若い人が入りやすいものであり続けるため、常に世代交代を考えた運営をしていきたいと考えています。

interview >>> 01 Yuko Hidaka



日高 優子 (旧姓: 畠山)

幼児でも分数を使って遊べるカードゲーム「分数大好き」を通じて、ここ広島から世界平和を創る!

**Hiroshima Creative Cafe の
縁から新商品「小数大好き」&
コラボ企画!**

発表後、オーディエンスの方や他の発表者の方と交流を深め、もったアイデアを実行に移したり、発表者の方と一緒に企画をしたりしました。広島工業大学との合同研究・sokiko: xカフェ x 分数大好き、婚活企画、新商品の開発など、多くのことに取り組んでいます。余談ですが、Hiroshima Creative Cafeのおかげで結婚することができました。ありがとうございます。

「分数大好き」に続く新商品「小数大好き」を2018年に発売予定。「小数大好き」パッケージの書道文字は一般公募し、これは、一緒に登壇した坂口赤道さんと企画しました。みなさんの作品が商品の文字になります!

interview >>> 05 Satoshi Ishitobi



石飛 聡司

観光客向けサイクリングガイド事業。広島市内の「観光地」ではない地元スポットを中心にご案内!

sokiko: xガイドブックに載っていない旅へ、地域の魅力を発信発信するガイドツアー

外国人観光客を中心に、利用していただけるゲストが増えました。大手旅行会社とのコラボや広島市以外の地域での展開も可能性が出てきています。他の発表者の方々と継続して情報交換を行い、協力し合っています。得た情報をもとにルートを増やし、満足度の高い観光体験プログラムが固まってきました。

広島県内のアクティビティ事業者とのコラボ企画や他地域でのsokiko: xの展開を進めています。また、海外のエージェントとのコネクションもできてきたので、着地型ではなく事前に「日本へ旅行に行くなら広島でsokiko: xを！」の流れをつくり、サイクリングガイドチームをつくっていきます!

interview >>> 02 Misako Sakamoto



阪本 美砂子

「The Wonder 500™」を活用し、広島の伝統工芸品を世界に発信。

**広島の伝統 x デザインを
コンセプトに地方創生**

JAPAN BRAND FESTIVALの勉強会やヒカリエの展示会に参加しながら、「The Wonder 500™」と伝統工芸のCRAFT MEETを各企業へPRし、コーディネートしています。「The Wonder 500™」については、国内の期間限定のストアであるPOP UP STOREでの販売促進を企画中です。

和テイストの雑貨「つむぎあふ」を、創業70年を迎える企業に取り扱っていただくという販路を得ました。今後は瀬戸内地方の広島県、山口県、岡山県に特化した商材を中心に、海外で行われる物産展への出店や、美術館とのコラボレーションにも取り組みたいと考えています。

interview >>> 06 Ryouta Satou / Yuzuki Nagae



佐藤 亮太 / 永江 柚季

NPO法人チャリティーサンタ 広島支部
依頼家庭にボランティアサンタが訪問してプレゼントとメッセージをお届け。その際にいただく寄付で子どもの支援活動を行う。

**広島を真っ赤に染めるのは
サンタクロース!?**

Hiroshima Creative Cafe発表後、企業の支援など新たなサポートを得られたり、コラボが生まれたりして少しずつ応援の輪が広がってきています。他の発表者の方とのコラボもこれから進めていきたいと考えています。

今後は、特に経済的な理由などで、クリスマス自体を祝うことができなかったり、プレゼントをもらうことができなかったりする子どもたちに対して、プレゼントと意思を出る届ける取組を強化していきたいです。そのためには幅広い人の協力が必要なので、様々な形でコラボしながら、支援の輪を広げていきたいと思っています。

interview >>> 03 Itsuka Funaki



船木 いつか

いつかきっと、商業施設内でネイルサロンが叶える新しい価値の構築。

ネイルの世界

爪のために、普段から爪やすりを使って優しく研いで整えてほしいことをPR。施術では広島が日本一の生産シェアを誇るやすりを、爪切りの際にやすりで整えることで爪が割れにくくなることを多く実感してもらっています。爪やすりのPRモデルはHiroshima Creative Cafeの松川ディレクターにご協力いただいています。

現在、栄養価の高い豆を使い、爪を強くする可愛いお菓子を作っています。爪のことで困っている方に毎日出会います。私たちネイルリストはお医者さんではないので薬を処方することはできません。でも困りごとを和らげることはできます。少しでも、目の前の方のお役に立てるようと考えています。



music

Empowerment Water

